

# 二町内自治会新聞

## 自然災害に備えて

九月一日は、防災の日でこの日にちなんだ行事が実施されました。

二町内自主防災クラブも参加して研修を深めたところです。

「熊本県防災・国民保護セミナー」が八月三十日県庁地下大会議室で行われました。

二町内防災クラブからは、情報伝達、救護、救出、避難誘導の部長さん等七名が参加されました。

「災害発生時における住民避難と要援護者支援について」立教大学の立木教授の講演を受講しました。内容は、阪神淡路、新潟地震の例を取りながら、考察と説明がありました。

特に印象に残った事を説明いたします。

① 高齢者の避難誘導  
手足の不自由な高齢者の犠牲が多い。

② 生き埋め・閉じ込められた人の救助  
メディアの報道では、自衛隊の救助犬や大規模機械を使った活動が目立ちますが一番多いのは、共助で六十三パーセント（家族に助けられた三十パーセントと友人隣人に助けられた二十八パーセント）次が自助（自力脱出）で三十五パーセント、公助は、（自衛隊消防）僅か二%です。  
この事からしましても非常災害の場合身近な人が一番頼りになるということです。

③ 避難誘導  
非常災害が発生時の自分の避難場所を知っておくべきです。二町内の一時避難場所は、本町公園と健軍神社になっております。間違いが無いように各家庭に、避難誘導の地図を配りたいと思います。道路の寸断やがけ崩れがあつた場合情報伝達部の指示で動くようにしたいと思ひます。  
**住宅防火対策推進シンポジウム**が九月五日産文会館に於いて行われました。テーマに沿って、東京理科大学の菅原教授の基調講演、とパネルディスカッションがありました。  
防火では、火の元の使用が一番ですね。  
しかし隣の家からの出火や放火となりますと防ぐ事が出来ません。しかも深夜となりますと大変危険な事になります。  
消防庁の統計によりますと住宅火災件数は、約二万件（十年間増減なし）ところが死者数は年々増えつづけており年間一千二百人も犠牲者を出しております。欧米でも日本と同じ傾向にあります。

事務局  
村上徹郎  
TEL 368-5384  
住所 健軍本町 26-3

アメリカでは、火事による死亡者を減らす為火災報知器の義務化を打ち出しました。その結果死亡者数が半減したそうです。日本も遅ればせながら寝室に取り付けることを義務付けました。  
火災報知器は、五千円から一万円位だそうです。ところがこれに目をつけた悪徳業者が出回っているそうです。騙されないようにしてください。パネラーの話では町内や校区が纏まって購入すると安く買えるし、大変有利だと言つ事をお聞きしました。二町内でも希望者を募つて一括購入の方法を取ろうと思つていきます。

### 二町内の道路の舗装

大変いたんでおりました二本の道路の打ちかえ舗装を九月から十月にかけて、工事を行う事になりました。地藏さんから広前に掛けての道路、もう一本は在宅ケヤセンターの裏側の道路です。長い間辛抱していただきました。  
工事中は、騒音そして不自由をお掛けするかと存じますが宜しく御願ひします。

### 秋の町内一斉清掃

期日十月二十八日（日）  
時間 午前七時～八時  
内容  
① ゴミステーションの清掃と不法ゴミの分別  
② 公園の清掃  
③ 不法ゴミは公園入り口に集める  
二町内は、美しい町づくりを目指しております。日曜日でもありますからどうぞ家族そろつて参加して下さい。  
○中学生の皆さんには、バス停、道路のゴミの清掃を御願ひします。  
**米寿のお祝い**  
大正九年生まれの方が該当者となります。今年が吉川マサ子さんお一人でした。  
八十八歳のお誕生おめでとう御座います。次は百歳を目指して、頑張ってください。  
**ゴミの分別について**  
ゴミの種類は、大別して燃えるゴミ、資源ゴミ、埋め立てゴミの三種類です。毎日の事ながら、これは、燃えるゴミかな、資源ゴミかな、いや埋め立てゴミかなと迷うような事がしばしばです。特に資源ゴミの中に異物が混入しますと資源ゴミとしてのリサイクルが出来なくなります。また十人の中の一人でも違反しますと製品の質が落ちる事になります。  
きちんとゴミの分別をしないとリサイクル活動が不可能になります。  
二町内公民館では、全町民の皆様には、ゴミの分別、リサイクル活動、地球環境について勉強会を開く事にしました。  
一、期日十月七日（日）  
二、場所二町内公民館  
三、内容  
ゴミの分別について  
講師 廃棄物指導課 職員  
午前十時より約一時間の予定です。次の世代は子ども達のもので、良い環境を残すのが親の務めであり、すべての大人達の務めだと思ひます。どうぞ家族お揃いで参加して下さい。